

## ① 酸蝕症（さんしょくしょう）

歯の硬組織は主にカルシウムやリンが主成分ですが、カルシウムは酸に溶ける性質があります。硬組織が溶け出すpH（臨界pH）にお口の中が長期間・頻回にさらされると溶け出します。これが酸蝕症です。むし歯はむし歯菌が酸を作り、歯を溶かしますが、酸蝕症は細菌の関与はありません。

### <酸蝕症の主な原因>

- ★柑橘類、炭酸飲料、清涼飲料水、酢などの酸性の飲食物の過剰摂取
- ★ビタミンCなどのサプリメントの過剰摂取



- ★嘔吐によって胃液が逆流して口に入る胃食道逆流症（=逆流性食道炎）
- ★塩酸、硫酸、硝酸などを扱うメッキ工場などの酸性ガスの吸引



## ② 咬耗症（こうもうしょう）

咬耗症は、上下の歯と歯、歯と食物、歯と修復物（詰め物やかぶせ物、義歯など）が接触することにより削れてしまうことです。

歯ぎしりや食いしばり、固いものを好んで食べる嗜好などがある人は進行が速いことがわかっています。

これはかみ合う面が平らになっていくことで確認できます。



### Tooth Wear（トゥースウェア）

とは、むし歯ではないのに歯が溶けたり、欠けたりする病気です。むし歯や歯周病に次ぐ、第3の歯科疾患と言われています。Tooth Wearには

- ①酸蝕症②咬耗症、③摩耗症、  
④アブフラクションがあります。

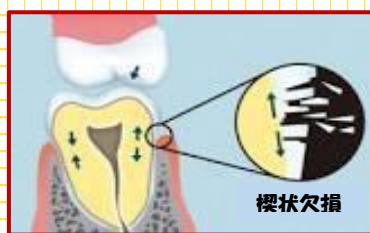
## ③ 摩耗症（まもうしょう）

不適切な歯みがき（力を入れてみがく）などにより歯質が失われる症状です。歯周病などにより歯肉が下がってしまうと、歯の歯根（歯の根）が露出し、軟らかい組織の象牙質がむき出しになってしまいます。象牙質は歯冠（歯肉より上の部分）のエナメル質に比べやわらかく、不適切なブラッシングによって削れ易いので、歯の根元がえぐれた状態（楔状欠損くさびじょうけつざん）になることもあります。



## ④ アブフラクション

アブフラクションとは、過度な咬合力により、歯の根元に応力が集中して歯の根元の組織（エナメル質・象牙質）がはじけ飛んだ症状です。



## ★ Tooth Wear（トゥースウェア）の治療法

トゥースウェアの原因を除去することが1番大切です。その上でレジン充填（白い樹脂の詰め物）やクラウン補綴（金属やセラミック、樹脂等のかぶせ物）によって歯を保護、噛めるようにします。

